

第27回測量経営者研修会 実施報告

平成28年9月8日(木)、神奈川県箱根町の「ホテル花月園」において、第27回測量経営者研修会を受講者34名の参加により開催しました。

最初に日本測量協会の小野邦彦関東支部長及び神奈川県測量設計業協会の永井博記会長から開会の挨拶があり、続いてオープニングアドレスとして神奈川県測量設計業協会の下濱優治理事から「神奈川県測量設計業協会の活動紹介」があり、「測量の日」記念行事の実施、各種研修会の開催、小学校への出前講座の実施などが紹介されました。



神奈川県測量設計業協会 下濱理事によるオープニングアドレス

次に、特別講演として神奈川県温泉地学研究所の里村幹夫所長により「関東地方で想定される地震と箱根の火山活動」と題して、日本付近で起こる地震の種類、南関東で起こる地震のタイプ、首都直下地震、箱根の火山活動の経過と防災対応、今後予想される箱根の火山活動などについて詳しく説明がされました。



神奈川県温泉地学研究所 里村所長による講演



研修会場風景

続いて行われたパネルディスカッションは、(株)日豊の植田伸一社長の司会により、「測量業と防災教育—自然災害と測量の産官学連携について—」をテーマに行いました。

パネラーの松沢成文参議院議員からは前神奈川県知事として「官」の立場から、里村幹夫神奈川県温泉地学研究所長からは元静岡大学教授として「学」の立場から、ビッグ測量設計(株)の村田豊世社長及び高木測量(株)の小池毅社長からは「産」の立場から、これまでの東日本大震災や関東豪雨災害での体験を通じた防災・減災への取り組みや社員教育・学生教育などについて発表があり、活発な意見交換が行われました。



パネルディスカッションの様子

最後に、小安隆夫社会部会長から閉会の挨拶があり、今年度の測量経営者研修会を予定どおり終了しました。

本研修会の開催に当たりましては、関東支部社会部会委員ならびに神奈川県測量設計業協会の皆様にご尽力をいただきました。関東支部事務局より深く御礼申し上げます。